

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部	健康部	課	健康課
---	-----	---	-----

施設名称	〔33〕 東京都台東区立台東病院					
指定管理者の名称	公益社団法人地域医療振興協会	指定期間	H21.4.1 ~ H31.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	全国のへき地を中心とした地域保健医療の調査研究及び地域医学知識の啓蒙と普及を行うとともに、地域保健医療の確保と質の向上等住民福祉の連携を図り、もって、地域の振興に寄与する。					
(2)類似施設の管理実績	病院（25カ所）、診療所（29カ所）、老健（14カ所）					
(3)経営状況	経常収益101,416,395,662円、経常費用103,684,106,779円、 経常収支 2,267,711,117円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区千束3丁目20番5号					
(2)設置目的	区民の健康保持に必要な医療を提供するため。					
(3)利用者	医療が必要な方					
(4)開館日・時間	入院及び初期救急：24時間365日 外来受付：日曜日・祝日・12/29～1/3以外 月～金曜日は8:30～11:30及び13:30～16:00、土曜日は8:30～11:30					
(5)規模	延床面積17,328㎡（うち8,046.01㎡は老人保健施設）、鉄筋コンクリート造、 病床数120床（一般病床40床・療養病床80床（うち回復期病棟40床））					
(6)人員体制	166.1人 内訳：医師19.3（常勤12・非常勤7.3）、薬剤師3、放射線技師4、臨床検査技師3.8、管理栄養士2、MSW3、理学療法士11、作業療法士10、言語療法士2、視能訓練士2、看護職員64（常勤55・非常勤9）、介護職員23、事務19					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	医療の提供に関すること 病院の施設及び設備の維持・管理に関すること 病院の利用料金の徴収、減免及び還付に関すること 他					
(2)自主事業	居宅支援事業					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	384,347,000	227,229,000	113,264,000	71,197,000	51,531,750
	利用料金収入	841,868,000	1,190,406,756	1,459,272,000	1,534,383,389	1,590,861,508
	その他収入	5,000,000	34,442,965	16,125,000	45,792,264	65,414,010
	管理経費	1,231,215,000	1,472,912,254	1,588,661,000	1,685,850,254	1,760,330,400
決算	委託料	410,757,415	230,586,625	110,618,470	72,287,100	51,957,655
	利用料金収入	886,534,899	1,388,112,207	1,426,446,677	1,565,315,007	1,746,707,637
	その他収入	37,712,095	79,119,851	41,344,435	63,126,504	73,872,461
	管理経費	1,385,049,297	1,637,137,923	1,616,058,881	1,719,287,171	1,875,805,198
	収支	-50,044,888	60,680,760	-37,649,299	-18,558,560	-3,267,445
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
一般病床延患者数	人	12,139	11,647	12,247	12,381	
療養病床延患者数	人	12,074	12,708	11,952	12,852	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （27年度）	23年度	24年度	25年度	
病床利用率	%	86.3	83.0	83.0	86.8	
1日あたり外来患者数	人	243	177	222	244	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

認知症や複合疾患を持つ患者など、対応困難な方を柔軟に受け入れるために、分野ごとに、医師を中心としたチームを作り、患者の受入体制の強化を図った。病床利用率も上昇しており、より多くの区民が利用できるよう努めている。また、スタッフが地域の診療所を訪問するなど、顔の見える連携の構築に努めるとともに、訪問リハビリテーションの体制強化により利用者も増大した。その他、病院機能評価の認定取得、退院前カンファレンスの実施強化、『患者の声委員会』の設置など、職員一丸となって運営改善に取り組んでいる。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [2]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	病床利用率や外来患者数は増加しており、回復期リハビリテーション病棟の在宅復帰率も堅調である。また、地域の診療所からの紹介患者の返送も年々増加するなど、積極的に医療機関等との連携を行っていると思われる。
(2)施設の維持管理	A	建物・設備の保守点検、清掃及び衛生管理は計画的に実施されており、療養環境は良好に保たれている。建物・設備の修繕についても、運営に影響がないよう迅速に対応しており、適正に施設の維持管理を行っている。
(3)利用者の満足度	A	利用者の意見を取り入れ運営に活かすために、新たに『患者の声委員会』を設置するなど、体制の整備を図っている。また、第三者機関である『台東病院等運営協議会』の評価も向上しており、確実に運営改善の効果が表れている。
(4)収入支出	A	スタッフの適正な確保・人員配置に努めるなど、計画的に事業運営を行いながら、経費の縮減を図っている。病床利用率や外来患者数、診療単価の増加、人件費率の減少等により、事業収支は前年度より改善している。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	病床利用率や外来患者数が増加し、回復期リハビリテーション病棟の在宅復帰率も順調に推移している。また、区の『在宅療養連携推進協議会』への参加や、地域の医療機関等とも連携を図っており、慢性期医療を担う拠点病院として機能している。
-----------	--

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

高額医療機器の活用については、CT・MRIの撮影件数は年々増加しているが、地域の診療所からの検査依頼件数は横ばいであるため、地域の診療所等に対して積極的に広報するなど、共同利用の促進に努める。在宅生活の支援については、区のリハビリテーションの中核的な役割を果たすために、訪問リハビリテーションの体制をより一層強化するとともに、患者の退院後の在宅訪問サービスの充実を図る。また、利用者や運営協議会からの意見に基づき、利用者の視点に立ったきめ細かな対応を実施し、区立病院として、健康づくり・医療・介護等の充実に取り組んでいく。